第二講　小説　記述編

次の文章は、横光利一「美しい家」の全文である。これを読んで、後の問いに答えよ。

ある日、私は妻と二人で郊外へ家を見付けに出て行つた。同じ見付けるからには、まだ一度も行つたことのない方面が良いといふ相談になつた。

私達はその日一日歩き廻つた。夕方には、自分達の歩いてゐる所は一体どこなのだらうと思ふほどもう三半器官が疲れてゐた。草に蔽（おお）はれた丘の坂が交錯し合つて穏かな幕のやうに流れてゐた。人家はぼうとした草のために見えなかつた。

「おい、こゝはどこだらう。」と私は妻にいつた。

「私もこんな所知らないわ。」

「おれはもう、へとへとだ。」

「私もよ。私、もう歩くのがいやになつた。」

「ぢや、こゝで休まうか。陽が暮たつて、いゝぢやないか。」

「さうね、暮たつて別にかまはないわね。」

「休まう。」

私は草の中へ腰を降ろすと煙草を取り出した。妻も私の横へ座つて落ちついたらしく、暮て行く空の色を眺めてゐた。——

（こゝで、私と妻とが同じやうに疲れたといふことが、①<u>私達一家の間に、大きな悲劇をもたらした原因であつた。</u>）——

しかし、私はたゞ何も知らずに煙草を吹かせてぼんやりとしてゐただけである。このぼんやりとしたゆるんだ心理の続いてゐる空虚な時間に、黙々として私達の運命を動かせてゐた何物かがあつた。それは一体何物であつたのか。私はふと、私のぼんやりしたその空虚な心のなかから、急に、かうしてゐてもはじまらない、今日中に家を見つけなければ、と思ふあわたゞしい気持ちが、泡のやうにぽつかりと浮き上つて来た。

「おい、もう一度家を捜さう。疲れついでだ。今日中に捜してしまつて、それからゆつくり落ちつかうぢやないか。」

「ええ、さうしませう。」と妻はいつた。

疲れてはいけない。疲れると判断力がなくなるものだ。私達は疲れた心でまた家を捜しに出かけていつた。

ある草に包まれた丘の上に、私達は一軒の家を見つけ出した。

「あの家は貸家かな。戸が閉つてゐるね。あれは貸家だよ。」

私と妻とはいきなりその家の周囲をぐる廻つた。

「こゝはいゝね。高いし、庭は広いし、花はあるし、朝起きても日にあたれるし。」

私の言葉の速度が疲れた妻の心を動かした。

「ええ、いいわね、ここにしませうか。」

「ここにしよう、ここがいい。」

そこで二人は大家へ行つて部屋の様子をきき正した。私達はもう家そのものはどうでも良かつた。たゞ自分達の疲れた身体に一時も早く得心を与へるために直ぐその家を借りようといふ気になった。

その家へ越して来たのは、それから一週間もしてからだつた。私はその家が自分の家になつてから、初めて良く家の中を見廻した。すると、私は急に、「いやだ。」と思つた。どうしてこの明るい家の中に、こんな暗さがあるのだらうと考へた。北側に一連の壁があるこれだ。――しかし、私は間もなく周囲の庭に咲き乱れてゐるとりどりの花の色に迷ひ出した。外の色が、内の暗さを征服した。私は北に連らなる頑固な壁を知らずしらずの間に頭の中から忘れ出した。

だが、秋が深くなると、薔薇(ばら)が散つた。菊が枯れた。さうして、枯葉(かれは)の積つた間から、漸(よう)く淋(さび)しげな山茶花(さざんか)がのぞき出すと、北に連らなつた一連の暗い壁が、俄然として勢力をもたげ出した。私はかぜを引き続けた。母が、「アツ」といつたまゝ死んでしまつた。すると、妻が母に代つて床についた。私の誇つてゐた門から登る花の小路は、氷を買ひに走る道となつた。

「どうも、この家は空気が悪い。古臭い空気がたまるのだ。家を変らう。家を。」

しかし、もうそのときには、妻の身体は絶対に動かすことが出来なかつた。さうして、再び夏が私達の家にめぐつて来た。い

ちごは庭一面に新鮮な色を浮べ出した。桜桃（おうとう）が軒（のき）の垣根に連らなつた。ぶだうは棚の上に房々と実り出した。だが、妻は日日床の中から私にいつた。

「私、こゝの家を変りたい。ね、家をさがしてよ。私、もうこゝは嫌ひ。」

「よしよし、だが、もう少し待て、お前の身体が動けるやうにならなけりや。」

「いやよ。私、もうこれ以上ここにゐれば、死んでしまふにきまつてゐるわ。」

「しかし、動いたなら、なほ死ぬにきまつてゐるんだ。だから、」

「いやいや、私、他で死ぬのならかまはないわ。ここで死ぬのはいや。」

その中に大きな百合が家の周囲で馥郁（ふくいく）とにほひ出した。

「そら、今日は百合が咲いた。」

「どらどら。」

二人が百合の花の大きさに驚いてゐる中に、また、ばらの大輪が咲き初めた。

「おい、今日はばらだ。これは美事だ。」

「まアまア、クリーム色ね、白いのはまだかしら。」

私は百合の花を手折つて来て妻の枕元に差してやつた。すると、妻は激しいにほひのためにせき続けた。

「これやいけない、百合はお前を殺すんだ。薔薇がいゝ、薔薇が。」

百合と薔薇とを取りかへて部屋の暗さを忘れてゐると、次ぎにはおいらん草が白と桃色の雲のやうに、庭の全面に咲き乱れた。

妻の青ざめた顔色は漸く花のためにやはらぎ出した。しかし、やがて、秋風が立ち出した。花花は葉を落す前に、その花を散らすであらう。

ある日、私は、私達をこの家へ導き入れた丘の上へ行つてみた。私は二人で休んだ草の中へ座つてみた。そこで私は、かつて前に、疲れた心をぼんやりとさせたやうに、今また不幸に疲れた心をぼんやりと休めてみた。②私は私の心の中から、何か得がたい感想が浮び出しはしないかと待ちながら。だが、私の胸の中からは、何物もわき上つては来なかつた。私は私の心に詰（つま）つて

ゐるものをふるひ落とすやうに、私の心をたゝいてみた。
「生活とは何か。」
　苦しむことだ。――
「苦しみとは何か。」
　喜ぶためだ。――
「喜びとは何か。」
　生活することだ。
「それなら、生活とは。」――
　私は白い草の根をかみながら立ち上つた。ふと、私はその草の根が、去年の秋、私達が座つて踏みつけたときの草の根に相違ないと考へた。それが一度葉を落してまた芽を出した。③私達も廻るであらう。今に、不幸が亡くなるだらう。――
　私は家へ帰つて来た。家の小路の両側は桃色の花で埋まつてゐた。この棚びく花の中に病人がゐようとは、④何と新鮮な美しさではないか。と私はつぶやいた。

（河出書房新社版『横光利一全集　第二巻』）

問１　傍線部①とあるが、「大きな悲劇」に至る原因と過程を本文に則してまとめよ。（サプリ講義担当者からの注―二行、七〇字程度書ける解答欄があります。この中で必要と考えられる説明をしてください）

問２　傍線部②は、小説中のどの部分に対応して記されているのか。本文から抜き出して答えよ。（サプリ講義担当者からの注―二行、七〇字程度書ける解答欄があります。この中で必要と考えられる説明をしてください）

問３　傍線部③とあるが、なぜ「私」はこのように思ったのか、推察せよ。（サプリ講義担当者からの注―二行、七〇字程度書ける解答欄があります。この中で必要と考えられる説明をしてください）

問４　傍線部④とあるが、なぜ「私」にとって「新鮮な美しさ」だったのか詳しく説明せよ。（サプリ講義担当者からの注―二行、七〇字程度書ける解答欄があります。この中で必要と考えられる説明をしてください）

知識モノ解説

文学史・人物紹介

●筆者　横光利一＝よこみつ　りいち（一八九八〜一九四七）福島県生まれ、早稲田大学中退。ノーベル文学賞を受賞した川端康成とともに「新感覚派」と呼ばれるグループの作家。代表作は『春は馬車に乗って』『日輪（にちりん）』『旅愁（りょしゅう）』。なお、これらは文学史の試験問題になるほど

語句

三半器官＝さんはんきかん→内耳にあって平衡感覚をつかさどる部位。現在では「三半規管」と表記する

交錯＝こうさく→入り混じる

空虚＝くうきょ→からっぽで内容がない

得心＝とくしん→十分に承知する。納得

俄然＝がぜん→何かをきっかけにしてそれまでとがらっと違う状況になる様子

桜桃＝おうとう→桜の一種。さくらんぼ

馥郁＝ふくいく→よい香りがする様子

復習問題　第二講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）都市コウ外へ電車で出かける　①効　②功　③交　④郊　⑤耕
（イ）家族でソウ談してから決断する　①想　②双　③装　④総　⑤相
（ウ）雑多な情報が交サクしている　①作　②索　③策　④搾　⑤錯
（エ）新たな計画にガン固に抵抗する　①願　②頑　③含　④元　⑤丸
（オ）ギリシャのヒ劇を観賞する　①被　②悲　③否　④非　⑤批
（カ）空キョな言辞を繰り返す　①距　②拠　③虚　④居　⑤挙
（キ）先の説明には得シンがいかない　①信　②真　③心　④審　⑤芯
（ク）未踏の大地をセイ服する　①政　②制　③整　④征　⑤勢
（ケ）王が絶タイ的な権力をふるう　①体　②大　③隊　④対　⑤代
（コ）新センな魚介類を仕入れる　①浅　②鮮　③選　④繊　⑤洗

第二講　模範解答

問1　その日中に家を見つけなければとのあわただしい気持ちから、判断力を欠くのに夫婦とも疲れたまま家を捜し、決めてしまった。

問2　私はふと、私のぼんやりしたその空虚な心のなかから、急に、かうしてゐてもはじまらない、今日中に家を見つけなければ、と思ふあわたゞしい気持ちが、泡のやうにぽつかりと浮き上つて来た。

問3　昨年の秋からの時間や季節の推移を考えれば、今は不幸に疲れた自分たち夫婦の生活も変わるだろうという期待や願いがあるから。

問4　季節の色とりどりの花に囲まれた家に病で床に伏せる妻がいることは一年前に家を捜し決めたときには考えもしなかったことだということ。

復習問題　第二講　模範解答

（ア）④　（イ）⑤　（ウ）⑤　（エ）②　（オ）②
（カ）③　（キ）③　（ク）④　（ケ）④　（コ）②

解答漢字一覧

（ア）郊外　（イ）相談　（ウ）交錯　（エ）頑固　（オ）悲劇
（カ）空虚　（キ）得心　（ク）征服　（ケ）絶対　（コ）新鮮